

第 65 回日本寄生虫学会南日本支部大会  
第 62 回日本衛生動物学会南日本支部大会  
合同大会

プログラム  
講演要旨

2012

会期：平成 24 年 11 月 10 日（土）・11 日（日）  
会場：長崎大学医学部 ポンペ会館  
大会長：長崎大学熱帯医学研究所 教授 皆川昇  
大会事務局：長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野  
〒852-8523 長崎市坂本 1-12-4  
Tel: 095-819-7809  
Fax: 095-819-7812

## ご案内

1. 受付：11月10日(土) 午後12:30より

長崎大学医学部ポンペ会館ロビーにて行います。

2. 会費：

参加費 一般 2,000円、 学生 無料

懇親会費 一般 3,000円、 学生 2,000円

振込がまだの方は当日会場にて現金でお支払いください。

3. 一般講演：すべて口頭発表で行います。

発表時間は発表8分、質疑応答2分の合計10分で、PowerPointを用いた発表のみとします。

4. スライドの締め切り

講演内容は11月2日(金)までに大会事務局 二見 (futami@nagasaki-u.ac.jp) までEメールに添付してお送りください。サイズの大きなファイルはCDに保存して郵送していただくか、ファイル転送サービス等をご利用ください。

宛先 〒852-8523 長崎市坂本1-12-4

長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野

南日本支部合同大会事務局

5. 学会誌掲載用抄録：

\*衛生動物で発表される方は、大会抄録とは別に雑誌「衛生動物」掲載用の抄録の準備もお願いいたします。形式は下記のサイトからダウンロードできます。大会受付時にコピー1部を提出ください。 [http://www.jsmez.gr.jp/abstract\\_dl.html](http://www.jsmez.gr.jp/abstract_dl.html)

6. 評議委員会・運営委員会

11月10日(土) 午後12:30より

長崎大学熱帯医学研究所小会議室にて行います。

7. 特別講演

(1) 森林マラリアサルマラリア

長崎大学熱帯医学研究所 中澤 秀介 先生

(2) 気象・気候変動と感染症

長崎大学熱帯医学研究所 橋爪 真弘 先生

8. 懇親会：11月10日（土）18:30より

長崎大学医学部生協

9. その他

クロークは用意しませんのでお荷物はご自分で管理していただくようお願いいたします。

また、医学部キャンパス内は全面禁煙です。ご協力ください。

10. 会場へのアクセス



長崎駅前から・・・長崎バス8番（医大経由または江平経由 下大橋行）に乗り、医学部前下車、徒歩5分。市内電車（赤迫方面行1，3番）に乗り、浜口町下車，徒歩10分。タクシーで約10分。

浦上駅前から・・・徒歩20分。タクシーで約5分。

長崎空港から・・・リムジンバス（長崎行）に乗り、長崎駅前下車，その後は1による。リムジンバス（長崎行）に乗り、大橋下車，その後は徒歩20分。またはタクシーで約5分。タクシーで約1時間。

所在地・・・・・・〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

第 65 回日本寄生虫学会南日本支部大会  
 第 62 回日本衛生動物学会南日本支部大会  
 合同大会  
 日程

	第 1 日目 11 月 10 日 (土)	第 2 日目 11 月 11 日 (日)
9:00		9:15 ~ 10:15 一般演題 6 題 (衛生動物 9・10・11) (寄生虫 6・7・8)
10:00		
11:00		10:30 ~ 11:30 一般演題 6 題 (衛生動物 12・13・14) (寄生虫 9・10・11)
12:00		11:35 ~ 12:05 総会 12:05 ~ 12:10 閉会挨拶
13:00	12:30 ~ 13:45 評議委員会／運営委員会 会場：熱帯医学研究所小会議室	
14:00	13:55 ~ 14:00 開会挨拶  14:00 ~ 14:45 特別講演 1 14:45 ~ 15:30 特別講演 2	
15:00		
16:00	15:45 ~ 16:55 一般演題 7 題 (寄生虫 1・2・3) (衛生動物 1・2・3・4)	
17:00	17:10 ~ 18:10 一般演題 6 題 (寄生虫 4・5) (衛生動物 5・6・7・8)	
18:00		
19:00	18:30 ~ 20:30 懇親会：長崎大学医学部生協	

## 11月10日（土）

○評議委員会／運営委員会

○特別講演：2題

○一般講演（寄生虫：5題、衛生動物：8題）

12:30 - 13:45 評議委員会／運営委員会

13:55 - 14:00 開会挨拶

14:00 - 14:45

特別講演1 座長：高木 正洋

### 「森林マラリアサルマラリア」

中澤秀介（長崎大学熱帯医学研究所病原虫学分野、マラリア伝播環境の変容と人獣共通性マラリアの出現の理解に向けた学際的研究チーム）

14:45 - 15:30

特別講演2 座長：皆川 昇（長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野）

### 「気象・気候変動と感染症」

橋爪真弘（長崎大学熱帯医学研究所小児感染症学分野）

15:30 - 15:45（休憩）

15:45 - 16:55（一般講演：7題）

座長：由井克之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座）

#### 寄生虫1

モデル抗原組換えマラリア原虫を用いた肝細胞期防御免疫機構の解析

○木村一美<sup>1</sup>、木村大輔<sup>1</sup>、都田真奈<sup>1</sup>、本間季里<sup>1</sup>、田村隆彦<sup>1</sup>、油田正夫<sup>2</sup>、由井克之<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>長崎大・院医歯薬・免疫、<sup>2</sup>三重大・院医・医動物）

#### 寄生虫2

リーシュマニア原虫感染初期における宿主細胞の遺伝子動態解析

○麻生妙美<sup>1</sup>、松本珠美<sup>2</sup>、加藤大智<sup>3</sup>、Jorge Diego Marco<sup>4</sup>、古閑比佐志<sup>5</sup>、Eduardo A. Gomez L.<sup>6</sup>、上里 博<sup>7</sup>、橋口義久<sup>8</sup>、三森龍之<sup>1</sup>（<sup>1</sup>熊本大・院・病原生物、<sup>2</sup>熊本保健科学大、<sup>3</sup>北海道大・獣医・寄生虫、<sup>4</sup>アルゼンチン・サルタ大学、<sup>5</sup>岩井整形外科内科病院・東京、<sup>6</sup>エクアドル 厚生省マラリア撲滅対策研究所、<sup>7</sup>琉球大・皮膚科学、<sup>8</sup>エクアドル中央大）

### 寄生虫 3

フタトゲチマダニ体内での *Babesia microti* の動態について

○草木迫浩大<sup>1</sup>、前田大輝<sup>1</sup>、Remil Linggatong Galay<sup>1</sup>、松尾智英<sup>2</sup>、白藤(梅宮)梨可<sup>1,3</sup>、望月雅美<sup>1</sup>、藤崎幸蔵<sup>1</sup>、田仲哲也<sup>1</sup> (1 鹿児島大学共同獣医学部新興感染症学分野、<sup>2</sup> 鹿児島大学共同獣医学部寄生虫病学分野、<sup>3</sup> 帯広畜産大学原虫病研究センター)

座長： 當間 孝子 (琉球大学医学部保健学科)

#### 衛生動物 1

フタトゲチマダニにおけるウサギ血液由来トランスフェリンの動態

○森 寛行<sup>1</sup>、Remil Linggatong Galay<sup>1</sup>、前田大輝<sup>1</sup>、松尾智英<sup>2</sup>、白藤(梅宮)梨可<sup>1,3</sup>、望月雅美<sup>1</sup>、藤崎幸蔵<sup>1</sup>、田仲哲也<sup>1</sup> (1 鹿児島大学共同獣医学部新興感染症学分野、<sup>2</sup> 鹿児島大学共同獣医学部寄生虫病学分野、<sup>3</sup> 帯広畜産大学原虫病研究センター)

#### 衛生動物 2

日本産ブユをミトコンドリア DNA 配列で同定するためのデータベース構築

○ 大塚 靖<sup>1</sup>、高岡宏行<sup>2</sup> (1 大分大学医学部感染予防医学、<sup>2</sup> マラヤ大学理学部生物学研究所)

#### 衛生動物 3

Validation of 40S ribosomal protein 17S as internal control for qRT-PCR of dengue-infected *Aedes aegypti*

○Lucky R. Runtuwene<sup>1</sup>、Shuichi Kawashima<sup>2</sup>、Yutaka Suzuki<sup>3</sup>、Sumio Sugano<sup>3</sup>、Kenta Nakai<sup>4</sup>、Ryuichiro Maeda<sup>5</sup>、Chihiro Sugimoto<sup>6</sup>、Tomohiko Takasaki<sup>7</sup>、Ichiro Kurane<sup>7</sup> and Yuki Eshita<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Department of Infectious Disease Control, Faculty of Medicine, Oita University, <sup>2</sup>Database Center for Life Science, Research Organization of Information and Systems, <sup>3</sup>Department of Medical Genome Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, <sup>4</sup>Laboratory of Functional Analysis in Silico, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, <sup>5</sup>Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, <sup>6</sup>Department of Collaboration and Education, Research Center for Zoonosis)

#### 衛生動物 4

イノシシ寄生 *Onchocerca sp.* の成虫の発見および遺伝子解析

○福田昌子<sup>1,2</sup>、宇仁茂彦<sup>3,4</sup>、大塚 靖<sup>2</sup>、高岡宏行<sup>4</sup> (1 大分大学全学研究推進機構、<sup>2</sup> 大分大学医学部感染予防医学講座、<sup>3</sup> 大阪市立大学医学部実験動物施設、<sup>4</sup> マラヤ大学理学部生物学研究所)

16:55 – 17:10 (休憩)

17:10– 18:10 (一般講演：6題)

座長： 堀井洋一郎 (宮崎大学農学部獣医寄生虫病学)

#### 寄生虫 4

コクシジウムの関与が強く疑われる牛出血性腸炎の病態解析

○桐野有美<sup>1</sup>、谷田美和子<sup>2</sup>、坂口奈緒<sup>2</sup>、蓮沼 浩<sup>3</sup>、加藤敏英<sup>4</sup>、堀井洋一郎<sup>1,2</sup>、野中成晃<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup> 宮崎大・医獣医総合研究科・獣医寄生虫病、<sup>2</sup> 宮崎大・獣医寄生虫病、<sup>3</sup> (有) シェパード中央家畜診療所、<sup>4</sup> NOSAI 山形)

#### 寄生虫 5

非放牧牛におけるベネデン条虫の感染動態と感染経路の推定

○入江隆夫<sup>1</sup>、太田藍乃<sup>2</sup>、坂口浩平<sup>3</sup>、日高華奈子<sup>4</sup>、野中成晃<sup>1,3</sup>、堀井洋一郎<sup>1,3</sup> (1 宮崎大・医獣医総合研究科・獣医寄生虫病、<sup>2</sup> 横浜国大・環境情報、<sup>3</sup> 宮崎大・獣医寄生虫病、<sup>4</sup> NOSAI みやざき)

座長： 江下優樹 (大分大学医学部感染予防医学講座)

#### 衛生動物 5

日向と日陰に設置した人工容器におけるヒトスジシマカ幼虫の生存と成長

○増田緋菜<sup>1,2</sup>、二見恭子<sup>3</sup>、砂原俊彦<sup>3</sup>、皆川昇<sup>3</sup> (1 長崎精道小学校、<sup>2</sup> JST 未来の科学者養成講座 (長崎大学 Science for All から始まるノーベル賞を夢見る自動・生徒育成プログラム)、<sup>3</sup> 長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)

#### 衛生動物 6

琉球列島で 2009 年から 2011 年にかけて採集した吸血蚊の吸血源動物について

○當間孝子<sup>1</sup>、玉城美加子<sup>1,2</sup>、万年耕輔<sup>1</sup>、宮城一郎<sup>1</sup> (1 琉球大学医学部保健学科、<sup>2</sup> イカリ消毒沖繩)

#### 衛生動物 7

沖繩本島北部の水田地帯にある畜舎でのライトトラップ法による蚊の採集調査

○玉城美加子<sup>1,2</sup>、當間孝子<sup>1</sup>、宮城一郎<sup>1</sup> (1 琉球大学医学部保健学科、<sup>2</sup> イカリ消毒沖繩)

#### 衛生動物 8

リバーズシマカの系統確立および奄美大島・鹿児島県佐多岬でのその生息環境

○江下優樹<sup>1</sup>、Lucky R. Runtuwene<sup>1</sup>、松原祥恵<sup>1</sup>、川島 秀一<sup>2</sup>、服部正策<sup>3</sup>、倉石 武<sup>3</sup>、甲斐智恵子<sup>3</sup>、Rawewan Srisawat<sup>4</sup>、Narumon Komalamisra<sup>4</sup>、Yupha Rongsriyam<sup>4</sup>、Arthur E. Mongan<sup>5</sup>、前田龍一郎<sup>6</sup>、杉本千尋<sup>7</sup>、牛島廣治<sup>8</sup>、高崎智彦<sup>9</sup>、倉根一郎<sup>9</sup> (1 大分大学医学部感染予防医学講座、<sup>2</sup> 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター、<sup>3</sup> 東京大学医科学研究所奄美病害動物研究施設)

18:10 — 18:30 (休憩・移動)

18:30 — 20:30 懇親会 (医学部生協食堂)



## 11月11日(日)

○一般講演(寄生虫:6題、衛生動物:6題)

○総会

9:15-10:15(一般講演:6題)

座長: 川田 均 (長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)

### 衛生動物 9

蚊帳の使用がマラリアを増やす条件についての理論的考察

○砂原俊彦(長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)

### 衛生動物 10

人工吸血装置による蚊の吸血実験

○鶴川千秋、川田均、皆川昇(長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)

### 衛生動物 11

ケニアにおけるネッタイシマカ2亜種の分布

○二見恭子、岩下華子、比嘉由紀子、皆川昇(長崎大学熱帯医学研究所)

座長: 丸山 治彦 (宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野)

### 寄生虫 6

中国・青海省における牧畜犬に対するテニア科条虫駆虫プログラムの検証

○郭志宏<sup>1,2</sup>、李偉<sup>2</sup>、彭毛<sup>2</sup>、朵紅<sup>2</sup>、甘甜甜<sup>3</sup>、那須哲夫<sup>4</sup>、堀井洋一郎<sup>1</sup>、野中成晃<sup>1</sup>(<sup>1</sup>宮崎大・医獣医総合研究科・獣医寄生虫病、<sup>2</sup>中国青海大、<sup>3</sup>宮崎大・農修、<sup>4</sup>宮崎大・獣医解剖)

### 寄生虫 7

ガボン共和国の野生大型霊長類に寄生する *Necator* 属鉤虫類の分子的特徴

執行美穂<sup>1</sup>、○長谷川英男<sup>1</sup>、佐藤 宏<sup>2</sup>、Pierre Philippe Mbehang Nguema<sup>3</sup>、藤田志歩<sup>4</sup>、竹ノ下祐二<sup>5</sup>(<sup>1</sup>大分大学・医・生物、<sup>2</sup>山口大・獣医・寄生虫、<sup>3</sup>IRET/CENAREST、<sup>4</sup>鹿児島大・共同獣医、<sup>5</sup>中部学院大・子ども学)

### 寄生虫 8

STZ 投与マウス膵臓の炎症メディエーター発現に対する寄生蠕虫の効果

○長田良雄<sup>1</sup>、山田壮亮<sup>2</sup>、金澤 保<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業医科大学医学部免疫学・寄生虫学、<sup>2</sup>産業医科大学医学部第二病理学)

10:15-10:30(休憩)

10:30– 11:30 (一般講演：6題)

座長：大塚 靖 (大分大学医学部感染予防医学)

#### 衛生動物 12

ボルネオ島 (マレーシア・サラワク) のランジャック・エンテマウ自然生物保護区で植物が保持する水溜 (ファイトテルマータ) に生息するギンモンカ属の蚊について

○宮城一郎<sup>1</sup>、岡沢孝雄<sup>2</sup>、當間孝子<sup>1</sup>、Wong Siew Fui<sup>3</sup>、Leh Moi Ung<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>琉球大学医学部保健学科、<sup>2</sup>金沢大学医学部、<sup>3</sup>サラワク国立博物館)

#### 衛生動物 13

ミクロネシア連邦の小島社会におけるデング熱媒介蚊の対策 1. 蚊幼虫の発生源調査

○野田伸一<sup>1</sup>、長嶋俊介<sup>1</sup>、山本宗立<sup>1</sup>、西村 知<sup>2</sup>、川西基博<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>鹿児島大学国際島嶼教育研究センター、<sup>2</sup>鹿児島大学法文学部、<sup>3</sup>鹿児島大学教育学部)

#### 衛生動物 14

若手研究者のための英語論文の書き方

○皆川 昇 (長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野)

座長：長田 良雄 (産業医科大学医学部免疫学・寄生虫学)

#### 寄生虫 9

ブタ回虫感染による幼虫移行症血清診断用抗原としてのリコンビナント As16 の有用性

○吉田彩子<sup>1</sup>、辻 尚利<sup>2</sup>、山崎 浩<sup>3</sup>、丸山治彦<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>宮崎大・医・感染症学・寄生虫学、<sup>2</sup>動衛研・寄生虫病学、<sup>3</sup>国立感染症研究所・寄生動物部)

#### 寄生虫 10

マンソン住血吸虫感染が誘導するユニークな肝臓内免疫反応について

安達 圭志<sup>1,2</sup>、○濱野 真二郎<sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup>長崎大・熱研・寄生虫学、<sup>2</sup>グローバル COE プログラム)

#### 寄生虫 11

ビクトリア湖畔の学童におけるマンソン住血吸虫の浸淫状況と宿主・社会環境因子に関する考察

風 幸世<sup>1</sup>、Evans Asena<sup>1</sup>、Faith Mwendu<sup>2</sup>、Yombo Dan Justin Kalenda<sup>1</sup>、伊藤誠<sup>3</sup>、金子聡<sup>1</sup>、一瀬休生<sup>1</sup>、嶋田雅暁<sup>1</sup>、松本壮吉<sup>4</sup>、Sammy Njenga<sup>2</sup>、○濱野 真二郎<sup>1,5</sup>

( <sup>1</sup>長崎大学・熱帯医学研究所、<sup>2</sup>ケニア中央医学研究所・ESACIPAC、<sup>3</sup>愛知医科大学・寄生虫学分野、<sup>4</sup>大阪市立大学・細菌学分野、<sup>5</sup>グローバル COE プログラム)

11:30 – 11:35 休憩

11:35 – 12:05 総会

12:05 – 12:10 閉会挨拶